麻生川　康志

高５９期

法務教官

入学してからまもなく実施された実力テストの順位では下から３位を叩き出し、登美丘高校での生活を続けていくことができるかどうか、不安に思ったあの日を今でも鮮明に覚えています。私は中学時代では野球部に所属しており、登美丘高校に入学してからは「坊主頭にすることが嫌だ。」という身勝手な理由から野球部に入部することを早々に断念しました。しかし、何かスポーツを続けたいという気持ちから当時休部となっていた男子バレーボール部を復活させることにしました。当初は部員も４名しか集まらず、入学したばかりにも関わらず、部員勧誘を行い、部活動として認定してもらうこと、体育館を利用させてもらうこと等に必死に取り組みました。そして一定の部員を確保することができ、男子バレーボール部として活動することを認めてもらうことができました。当時の私（今もですが）は思い付きで行動し、後先なんて何一つ考えずに生活していました。そんな私の行動を紳士に受け止めてくれた当時の先生方には今でも感謝しています。現在の男子バレーボール部は年々人数も増え、強豪校に仲間入りをしているそうで、誇らしい思いです。

学園生活の思い出としては、歌合戦で吹奏楽部のリーダーの女子から怒られながらみんなで歌を歌ったこと、体育祭で団長を務めたこと、文化祭で演劇をしたこと、いろんな思い出が登美丘高校に詰まっています。今でも「高校時代に戻れたらなぁ～。」なんて思う日も少なくありません。

現在は法務省専門職員である法務教官（少年院の教官）に就いています。様々な問題を抱える少年に日々、悪戦苦闘しながら向き合って指導をしていますが、その礎となるものはすべて登美丘高校での生活で学んだこと、身に付けたことであると心得ています。

皆様には今の学園生活を必死に送ってほしいと思います。全力で生きた当時の経験は大人になってから本当に大切なものであったと気付かされることが多いです。やりたいことに向かって全力で走ってみてください。そしてやらなければいけないことも確実に行ってください。それだけで十分だと思います。登美丘高校にはそれだけの力があると確信しています。

最後になりましたが、登美丘高校１００周年、本当におめでとうございます。

■プロフィール

2011 年　3 月　登美丘高校卒業

2015 年　3 月　びわこ成蹊スポーツ大学　スポーツ学部　卒業

2015 年　4 月　法務省専門職員（法務教官）　拝命